



## 創立 120周年に寄せて

中女・至学館の同窓生の皆さん、お元気ですか？

至学館のキャンパスは相変わらず賑やかで、学生たちの元気な笑い声が響いています。時が経つのは早いもので、学園は創立120周年を迎えることができました。

大きな船ではないかもしれないけれど頑丈で機敏な船になりたい！ナンバーワンになれなくてもオンリーワンでありたい！そんな思いでこれまで旅をしてきたように思います。この旅が持続できたのは、教職員たちの献身の結果であり、大学を信じ自らを育ててくれた学生たちのおかげであり、世に出て活躍してくてくれた卒業生の皆さんのおかげです。また、地域の方々や国内外で多くの友人たちがずっと応援してくださったおかげでもあります。そして「学校」という教育機関は人の集まりであり、経営のための教育ではないということを絶対に忘れたくないと思っています。

さて、懐かしの中女応援歌「High High High High (中女音頭)」の歌詞にある「山あり谷あり人生は坂を下れば 登り道 コロンデ オキアガッテ 学びます 雨降って 風吹いて 一歩前進」ではありませんが、混沌とした社会において、この先は自らの「人間力」がますます問われるようになります。物事の核心をつかむには、長い視線、広い視野、そして多様な視点が必要であり、何よりも学び続けることが大切です。AI (Artificial Intelligence) が進化する時代にあって、一部の職業がAIに奪われるとも言われていますが、AIに負けないためにも皆さんにはAIのご主人様になってほしいと思います。AIにクリエイティブなことは向いていませんし、何よりも五感を備えていません。皆さんには、どんな時代になろうとも学生時代に培った「チャレンジ精神」と「笑顔」を大切にそれぞれの

人生で引き続き活躍されることを期待しています。そして、至学館大学はこれからも教育理念「人間力の形成」のもとで一人でも多くの「夢追人」を育てることを目指し、「教育の肩車」を積み重ねていきます。

最後になりますが、至学館大学同窓会のますますのご発展を祈念いたしますとともに、今後とも母校の教育・研究活動にご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



至学館大学 学長  
谷岡 郁子

中女応援歌  
学園歌はこちら



# CONTENTS No.30



P.03

**特集1** 学園創立120周年記念  
大運動会／記念講演会／金メダルTシャツ など

P.05

**特集2** 創立者・内木玉枝先生を想って  
内木玉枝スピリッツ (名言集)

P.07

**同窓会の取り組み** **その①**

- 短大閉学セレモニー
- 教職員の会
- ホームカミングデー

P.09

**同窓会の取り組み** **その②**

- [ 奨学金による支援 ] 奨学生のご紹介
- [ 同窓会開催の支援 ] 同窓会開催のご報告
- 助成金・奨励金での支援

P.11

**至学館大学の近況** **その①**

- [ 独自の取り組み ] アスレティック・デパートメント
- [ 注目の課外活動 ] スポーツ栄養サポートチーム
- 学科情報
- 注目の学生をPICK UP

P.13

**至学館大学の近況** **その②**

- 至学館大学のさまざまなTOPICSを紹介
- 教員情報

P.15

**活躍する卒業生**

- ひとことメッセージ
- 卒業生がプロデュースするお店

P.17

**SHIGAKKAN FAMILY BOARD**

- メッセージ
- 書籍紹介
- けいじ板



### 同窓会会長メッセージ

母校が創立120周年を迎えました。同窓生の皆様と共にこの喜びを分かち合えることを、大変嬉しく思います。日頃より同窓会活動にご理解をいただき、心より感謝申し上げます。

前回の会報誌をお届けしてから2年間、同窓生の皆様には多くのご協力と活動へのご参加をいただきました。2024年7月には短大閉学セレモニーを大学と共催し、同年10月、第25回同窓会総会を開催しました。また、毎年のイベントとなっているホームカミングデーや教職員の会の開催に加え、在学生を支援する奨学金制度の推進を行ってまいりました。

大学同窓会は2028年に創立50周年を迎えます。この節目に向けて、世代を超えた絆を大切に つないでいくことが、同窓会、ひいては母校の力になります。今後も皆様にご参加いただける企画を考えてまいりますので、ぜひお気軽にご参加ください。

それでは、同窓会News No.30をお届けいたします。



至学館大学同窓会 会長  
田中 望

(平成13年度 健康科学部  
健康スポーツ科学科 卒  
平成15年度健康科学研究科 修了)

# 学園創立 120周年 記念

みんなの力で想いを形に ～全学生・教職員からアイデア募集～

学園創立120周年を迎えるにあたり、「選ばれたアイデアをみんなの力で具現化し、至学館大学の魅力を高めるとともに、ゼロから企画を作り上げる喜びを経験してほしい」という谷岡学長の思いから、2024年4月に全学生・教職員を対象に周年事業のアイデアを広く募集。書類審査及びプレゼン発表会が行われ、最終選考会を通過した**指定課題部門**と**自由課題部門**で**3企画の入賞者**が決定！2025年度にさまざまな事業が具現化されました。



受賞者の皆さんと谷岡学長



**自由課題部門** (自由企画) [入賞者] 越智ゼミの皆さん 14名 [代表] 柳本 和紀さん (健康スポーツ科学科4年)

## みんなで運動会！！ 園児から卒業生まで 400名が参加！

2025年10月27日(月)に、至学館大学スポーツ・サイエンス・センターにおいて、至学館大学大学院、至学館大学、至学館高等学校及び至学館大学附属幼稚園の学生、生徒、園児、教職員及び卒業生たちによる「**大運動会**」が開催されました。教員と学生たちによるアスレティックトレーナーチームがスタンバイする万全の

体制の中、約400名の参加者全員がお揃いの「至学館 金メダルTシャツ」を着用して集結。ドッチビーなど競技4種目をはじめ、エキシビジョンマッチ(三輪車競争)などを15チームで競い合いました。また、園児による演舞披露など、会場内は笑い声が絶えず、世代を超えて学園全体で真剣に楽しみました。



**指定課題部門** (金メダルTシャツデザイン)

[入賞者] 菅 徳真さん (栄養科学科2年)

## 金メダルTシャツのデザイン「挑戦」



2016年リオ五輪にレスリング女子が全階級で出場した記念として制作した「金メダルTシャツ」の背面デザインをリニューアル。ファーストペンギンをモチーフとしたイラストには、「リスクを恐れずに新しいことに挑戦する」メッセージが込められています。



**自由課題部門** (自由企画)

[入賞者] SNSTの皆さん [代表] 池田 瑞穂さん (栄養科学科4年)

## 「パフォーマンスを食で変える」レシピ本の刊行

簡単に作れるように作り方を工夫したり、どのように盛り付けるかなど、試行錯誤しながらレシピ作りを進めてきました。完成したレシピ本は広報用に活用される予定です。



## 「記念講演会」を開催

「Future of Sports」をテーマにスポーツの可能性を考える

開催日時	2025年11月1日(土) 10:00～12:00
開催場所	大府市役所「多目的ホール」

学園創立120周年記念講演会として、World Academy of Sport CEOのChris Solly (クリス・ソリー) 氏を講師に招き講演いただきました。講演では、「Future of Sports」をテーマに、教育とスポーツが人や社会にどんな力を与えるのか、また、2026年に開催される「愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会」への期待について語られました。そして、至学館大学の歴史を振り返り、未来像についても共有。さらに、国際パラリンピック委員会第2代会長のPhilip Lee Craven, MBE氏からのビデオメッセージも披露され、スポーツの未来を考える貴重な会となりました。



### 講師プロフィール



**Chris Solly (クリス・ソリー) 氏**  
Chief Executive Officer, World Academy of Sport

1999年、国際オリンピック委員会との合併会社であるOlympic Games Knowledge Services(OGKS)の構想と設立に尽力。スイスを拠点に活動、多くの国際スポーツ連盟と提携し、アスリートやスポーツ管理者向けの教育コースを提供している。

### 至大祭2025で写真展を開催

2025年10月25日(土)・26日(日)に開催された至大祭にて、大学祭実行委員会の皆さんが特別企画「写真展」を開催しました。同窓会からも写真を提供し、学園の思い出写真が展示されました。



### オリジナルマスコットキャラクターが誕生！

「～至学館らしい～」をテーマに在学生および教職員からマスコットキャラクターのデザインを募集。採用された3作品は、一部加筆修正され、学生会のシンボル(顔)として、さまざまな場面で活躍します。

[最優秀賞] 石村 玲乃さん  
(健康スポーツ科学科3年) の作品



# 創立者 内木玉枝先生 を想って

健康スポーツ科学科 准教授 越智 久美子  
2025年11月8日執筆



(左) 学校創設直後の玉枝先生  
(右) 至学館高校にある銅像

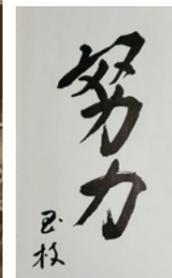
至学館高校に赴くと内木玉枝先生の銅像の前に立ち、八事に予定があると玉枝先生の墓前に伺い、学園の出来事、園児や生徒や学生、院生の様子をお伝えし、「これから見守っていて下さい」と話しかけます。

120年前、28歳の玉枝先生は名古屋市高岳町（現在の東区東桜）において本学園を創立しました。中京裁縫女学校という校名で、入学生72名が集い、教員は玉枝先生おひとりでした。その翌年には、生徒数が増え、早くも名古屋市南新町（現在の中区栄）に校舎を移すことになりました。

裁縫教育からはじまった本学園に体育・スポーツ分野が加えられたのは、中京裁縫女学校に併設された中京高等女学校で家事体操専攻科を開設した1922（大正11）年のことです。以降、家政だけでなく、体育の教員も社会に輩出していく学校として世に知られるようになっていきました。

当時、玉枝先生は生徒たちと日々寝食を共にして、勉学のご指導にあたったといわれます。玉枝先生の情熱あふれる教育は、1928（昭和3）年に中京裁縫女学校高等師範科と中京高等女学校家事体操専攻科が中

(左) 90歳の玉枝先生  
(中) 初期の教え子たちと記念撮影  
(右) 自伝「九十年の思い出」の冒頭に記された自筆の言葉



等教員無試験検定（旧制）の資格を得ることに繋がっていきます。女子体育教員養成機関として無試験検定出願が認められていた学校は全国で5校、中京高等女学校以外はすべて東京に所在する学校でしたから、「体育・スポーツを続けたい」「体育教員になりたい」という女子生徒は東海や近畿だけでなく、西日本や沖縄からも本学に集まってきました。人と人との出会いや学び合いが掛け算されて、1936（昭和11）年の第11回オリンピック（ベルリン）には卒業生と在校生が陸上競技で出場することになりました。新聞各社は、この頃の本学のことを「中京高女の黄金時代」と称しました。

けれど、1945（昭和20）年に本学園は空襲に遭い、校舎が全焼する被害を受けることになります。更に、その3か月後、愛知時計電機に勤労働員されていた生徒34名と引率の教員1名が「熱田空襲」によって命を落としました。今から80年前のことになります。

1905（明治38）年に創立された本学園はそれまで順調に生徒を集め、確かな教育を行ってきました。そ

れは、岐阜県恵那郡加子母村（現在の中津川市加子母）の山守の家に生まれ育った玉枝先生が一本の苗木を立派な大木にしようと丁寧に育てられた、と喩えて思い描くことができます。創立から40年の時、大木になろうとしていた一本の木は途轍もない力でへし折られてしまったのです。玉枝先生は70歳近くになられていました。この時の深いお気持ちは計り知れないものです。しかし、本学園はここで、へこたれてしまうことはありませんでした。戦後の混乱の中でも仮住まいの校舎で、二部制の授業を行い、戦後の教育制度のもと、1950（昭和25）年には中京女子短期大学を開設し、学園再建を果たしました。

120年という歳月のなかには、幾多の困難がありました。一方、人と人の力が合わさって大きな喜びを味わえることもありました。学園の歴史とは、ここに集うひとりひとりの人の物語の重なりです。この物語の先頭に立つのは、努力することを惜しまなかった内木玉枝先生です。

## 内木玉枝スピリッツ

# 名言集

内木 玉枝

1878（明治11）年11月29日生  
出身地  
岐阜県恵那郡加子母村  
（現在の中津川市加子母）

真の努力は  
誠実・忍耐・勤勉の  
三徳にもとづくもので  
なければならぬ。

伝統は一朝にして亡びるものではないと同時に、よき伝統の洗練にはそれを培うたゆまない努力が必要であり、とくに若い時代の成育をすぐれた環境のもとにおくことは、知らず知らずのうちに身にそなわる大きな力を期待し得るものです。

子供は可愛うございます。子供たちの一人一人に見入っているうちに、私は私の年を忘れ私の過去を忘れ、いつの間にか私自身が子供の一人一人におきかわっていることに気付くことも少なくありません。

学園は卒業生にとって第二の育ちの家として一生のよりどころにならなければならない。

幼児教育・・・これはまた素晴らしい仕事でございます。

無垢でしかもたくましい成長力をもった幼児によい環境を与え、よい刺激を与えて、やがて社会人への小学校教育をうけるためのよい基盤を養おうというわけでありませぬ。

学生にとって学校が自分の家のようなものであること、これは私学の特徴であると考えます。

学校は生き神様のお社であると存じます。 次の時代に生きる若い命は実に生きた神様であります。

私はいつも自分で考えて仕事をおこなうのであって、人の真似をすることは好みません。

私は、人間はどうあるのが本当かを考え、その実現のために耐えしのび、そして可能な限界内で自らを鞭うち、為すべきを為してまいりました。それが私に多くの仕合せをもたらしたのであると信じております。

# 同窓会の取り組み

その1

## 短大閉学セレモニーを開催!

2024.07.31 於:名古屋ガーデンパレス

### 有志教員と同窓会により、短期大学部74年の歴史に感謝を伝えるセレモニーを開催しました!

2024年3月に閉学した短期大学部は、これまでに約1万人の卒業生を社会に送り出してきました。その歩みを振り返り、大学から卒業生へ感謝を伝える場として、有志教員(代表:氏原隆元短大部長)と同窓会の共催で開催しました。MCは河野清司准教授と今井美希准教授が担当し、沢田(旧姓:内藤)英子さん(昭和39年度短期大学部家政科卒)の乾杯で開会。卒業生インタビューのほか、五十川隆夫名誉教授(米寿)と谷岡郁子学長(古希)へ花束が贈られ、最後に氏原隆元短大部長へ学長から感謝の花束が手渡されました。当日は、教職員と卒業生80代から新社会人までが集い、和やかで温かな優しい雰囲気になりました。



当日の様子は  
こちら



## 職種別同窓会「教職員の会」を開催!

「教育に携わる卒業生同士の交流の場が欲しい!」  
会員からのご要望にお応えし、毎年8月に開催しています。

2024.08.18 第2回

### 「ふつう、って何だろう? ~脱・思い込み 脱・SOGIハラ~」

講師:西本 梓さん 社会保険労務士  
(平成17年度 短期大学部体育学科 卒)

SOGIハラスメントや多様性について理解を深めるとともに、教育現場での対応について学びました。参加者からは、日本の制度のあり方や具体的な対応に関して質問がありました。矢橋初美さん(昭和30年度短期大学部家政科卒)をはじめ、幅広い年代の方たちにご参加いただき、有意義な時間となりました!



2025.08.24 第3回

### 「なぜ少年は罪を犯すのか 塀の中の非行少年と向き合う中で」

講師:金田 紬布子さん 法務教官  
(平成25年度 健康科学部健康スポーツ科学科 卒)

少年院と刑務所についてリアルなお話をお聞きし、法務教官の仕事について理解を深めました。お昼には、栄養科学科の井上ゼミによるお手製のランチを美味しくいただき、午後からは、ワークショップを行い、テーマについてグループに分かれて話し合いました。近況報告や情報交換もできました。



詳しくは  
こちら



# EVENT REPORT

Home Coming Day

## 「栄和人氏トークショー&スペシャル対談」を開催!

2025.10.25 (至大祭と同時開催)

### 栄和人氏がレスリング部監督を勇退!母校の発展に多大なる貢献、感謝!

本企画は、栄和人氏の監督勇退を記念して開催しました。対談には谷岡郁子学長をはじめ、金メダリストの土性沙羅レスリング部コーチ(平成28年度健康スポーツ科学科卒)、MCにCBCアナウンサーの大石邦彦氏を迎え、豪華な顔ぶれが集結。冒頭では、栄氏のこれまでの功績を振り返るVTRを上映。和気あいあいとした雰囲気の中でトークショーがスタートしました。栄氏の自宅に下宿していた選手たちのエピソードや、土性氏による「今だから話せる栄氏の素顔」など貴

重な裏話も披露され、吉田沙保里氏(金メダリスト)のお菓子にまつわるエピソードでは会場が大きな笑いに包まれました。お楽しみ抽選会も行われ、会場は終始盛り上がりを見せました。終盤には、教員たちからのビデオメッセージをサプライズ上映。続いて、同窓会長より感謝状が読み上げられ、土性氏から感謝の言葉とともに記念品が手渡されました。栄氏からは「悔いのない30年だった」との挨拶があり、会場は大きな拍手に包まれました。

当日の様子は  
こちら



記念品は「Macohaha Tomiti Design Cakes」さんのアイシングクッキーと名入れゴルフボール

## ビデオレター

### 教え子たちから、栄和人氏へのビデオメッセージ

登坂絵莉氏、渡利瑞穂氏、川井友香子氏、川井梨紗子氏から、栄氏との思い出と感謝を綴った動画をサプライズで上映し、最後は吉田沙保里氏からのメッセージで締めくくりました。「アジア大会、世界選手権、オリンピックと数々の大会で金メダルが取れたのも監督のおかげです。本当にありがとうございました。人生に定年はありません。いつまでもお元気で監督らしく頑張ってください。お疲れさまでした!」(吉田沙保里氏メッセージより)



吉田 沙保里 (平成16年度卒)

# 同窓会の取り組み その2

## 「同窓会奨学金制度」学生の「本気(マジ)」を応援!

学生の「本気(マジ)」な気持ちを応援しています。上限は10万円(給付型)で書類審査と面接で選考しています。

### 【同窓会奨学生のご紹介】



**6カ月の語学留学  
経験が、語学力と  
価値観を成長させて  
くれました。**

河合 風南 さん  
(健康スポーツ学科4年)



**フィリピンの児童  
養護施設で、こども  
たちとの触れ合いと  
調査活動を実現!**

高林 寛幸 さん  
(こども健康・教育学科4年)



**フィリピン・  
カオハガン島で、  
「幸せ」について考える  
ことができました。**

松村 美律 さん  
(健康スポーツ学科2年)

2年生の時に経験したカンボジアでのボランティア活動をきっかけに、視野をもっと広げたいと考えオーストラリアへ語学留学を決めました。留学当初は授業内容が半分も理解できず受け身の姿勢でしたが、このままではダメだと毎日基礎勉強をするように。友人やホストファミリーのサポートもあり、次第に話すことへの恐怖心がなくなり「コミュニケーションを楽しむ会話」ができるようになりました。多国籍な環境で過ごした経験は、語学だけでなく自身の価値観を広めてくれる最高の時間になりました。

ボランティア団体+one(プラスワン)が開催するツアーに参加し、フィリピンの児童養護施設CMSPのこどもたちと交流しました。私は今回、2回目の参加だったこともあり、多くのこどもが名前を覚えてくれたことが嬉しかったです。一緒にオリジナルTシャツを作ったり、水風船でドッチボールをしてびしょぬれになったりとさまざまな企画を楽しみました。また卒業研究の調査として、こどもたちに勉強に関するアンケートや、職員の方へのインタビューも実施することができ、貴重な4日間を過ごすことができました。

大学入学後、一般市民向けの学びと交流のコミュニティである「世界一周大学」に参加。プログラムの一つにフィリピン・カオハガン島への旅があり、私は企画から参加し、メンバーと一緒に旅を創り上げました。カオハガン島へ実際に行ってみると、日本とは違いほとんど経済活動のない自給自足の生活。そのなかで島民みんなが幸せそうな姿を見て、自分がこれまで抱いていた「幸せ」への固定概念を打ち破ることができました。「敬う心をもって毎日感謝できることが幸せなんだ」という大きな気づきが、この旅一番の成果です。



## 卒業生の活躍を支援・応援!

社会的に顕著な活動・活躍が認められた個人・団体に対して申請に基づき、原則年1回の助成をしています。



**井口 匠平 さん**  
(令和5年度 健康科学部健康スポーツ学科 卒)  
2024年アジア&オセアニア選手権大会コンバットサンボの部男子71kg級で銅メダルを獲得。



**板倉 愛里 さん/藤原 義晃 さん**  
(平成29年度 健康科学部健康スポーツ学科 卒)  
フットゴルフアジアカップ2024の日本代表として出場。板倉さんは女子個人戦で第3位、藤原さんは男子団体戦で優勝しました。



**富田 昌子 さん**  
(平成3年度 家政学部食品・栄養学科 卒)  
2025年、シュガーアーティストにとって世界最大級の大会「INTERNATIONAL CAKESHOW AUSTRALIA」において部門金賞1stを受賞!

# SUPPORT & ENCOURAGEMENT

## 「同窓会開催補助金制度」集まろう!参加しよう!

10人以上の参加が見込まれる同窓会開催時に、参加者一人当たり1,000円(上限10万円)を補助する「同窓会開催補助金制度」をご用意しています。開催の企画・運営のサポートもしていますので、ぜひご活用ください。

同窓会開催補助金制度・その他の同窓会の開催の様子についてはこちらをご覧ください



### 【同窓会開催のご報告】



2026.02.01

#### 女子硬式野球部 創部20年目同窓会

幹事:鈴木 美和 さん(旧姓:深澤)  
(平成20年度 健康科学部健康スポーツ学科 卒)



2025.06.21

#### 平成30年度卒 栄養科学科同期会

幹事:小椋 利佳 さん  
(平成30年度 健康科学部栄養科学科 卒)



2025.12.06

#### 剣道部会

幹事:吉田 江 さん  
(平成7年度 体育学部体育学科 卒)



2025.09.28

#### 昭和45年度卒 家政学部同期会

幹事:福井 美智子 さん(旧姓:萩堂)  
(昭和45年度 家政学部児童学科 卒)

## 在学生の活躍を支援・応援!

個人・団体または推薦人からの申請に基づき、原則年1回の助成をしています。



2024年度は大学が実施する課外活動の「リーダーズセミナー」において助成金の贈呈を行いました。

贈呈式での田中 望 同窓会長  
稲垣 茉優 さん(体操競技部)

### 2024年度に助成金を

#### 支給した課外活動

- 柔道部
- 軟式野球部(女子)
- 軟式野球部(男子)
- バレーボール部(女子)
- 体操競技部

### 第39回全日本大学女子野球選手権大会で初優勝した軟式野球部(女子)



### 祝・至学館高校野球部が 春のセンバツ甲子園に出場! 激励金を贈呈!

至学館高校が第97回選抜高等学校野球大会(春の甲子園)に出場しました。春の甲子園は8年ぶり2度目の出場、2011年夏、2017年春に続く春夏通算3度目の出場となります。活動支援金として同窓会から激励金を贈呈させていただきました。



(中央) 至学館高校奥川渉 校長

独自の取り組み

## Athletic Department アスレティック・デパートメント

詳しくはこちら 

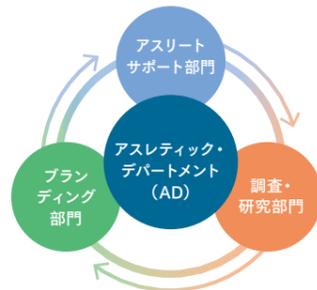
### 各分野のスペシャリストがアスリートを多角的にバックアップ!

アスレティック・デパートメント (AD) は、至学館大学でスポーツに関わる学生とスタッフを支える組織です。アスリートの学業との両立から将来のキャリア形成までを専門スタッフが継続的に支援し、調査・研究や学外連携、広報活動を通じて至学館大学のスポーツ活動の発展を担っています。



アスレティック・デパートメント長 竹下 俊一 教授

### アスリートの学生一人ひとりの「挑戦」と「成長」を入学から卒業まで全力でサポートします!



#### ADを構成する3つの部門

**【アスリートサポート部門】**  
アスリート学生を包括的にサポート

**【ブランディング部門】**  
産学官や地域との連携を広げADの価値を発信

**【調査・研究部門】**  
スポーツ研究とデータ分析で教育と技術向上に貢献

#### VOICE

在学中にゴルフ部でアスリート学生として過ごした経験を活かし、学生の本気に全力で向き合います。ADアドミニストレーターとして、アスリート学生が最高の学生生活をつかみとれるよう支援し、このADの取り組みが、母校の大きな魅力となることを目指します!



アスレティックアドミニストレーター 足立 美都樹 (卒業生)

#### トピックス

##### アスリート学生向けAD説明・登録会を開催!

部活動に所属するアスリート学生を対象に、AD活動の内容やサポート体制について説明会を開催。登録した学生は問診を受け、必要に応じてフィジカル・メンタル両面からサポートを受けられます。



##### 柔道部×SNSTプロジェクト 選手の健康とパフォーマンスの向上を!

スポーツ栄養サポートチーム (SNST) が柔道部員の食事提供と栄養管理を実施。また、スポンサーである株式会社松尾製作所の協力に加え、大府青果卸売市場の支援により、地域と大学が連携した実践的なサポート体制を実現。この取り組みは調査・研究プロジェクトとしても展開されています。



##### ADアカデミー

AD認定講師による座学を定期的に行われ、アスリート学生が自分の強みを知り、目標達成と社会での活躍に向けた力を育てます。



注目の課外活動

## Sports Nutrition Support Team スポーツ栄養サポートチーム (SNST)

詳しくはこちら 

### 「スポーツ栄養」の専門家を目指し、選手へのサポート活動を行います。

学生と教員による「スポーツ栄養」の専門家集団です。「スポーツ栄養」の専門家を目指す学生が、学内外の選手たちの栄養サポートを実践的に行っています。

部長 井上 啓子 教授

[2025年度SNST部員] 1年生15名、2年生21名、3年生20名、4年生7名



#### SNSTの主な活動

- 1 栄養アセスメントの実施** 選手の身体計測などを行います。
- 2 アスリートのためのメニュー開発と食事提供** アスリート弁当の試食会やイベントの開催、メニュー開発を行いメニューブックを作成します。
- 3 インターンシップ** 名古屋グランパスアカデミーをはじめ、学外の選手を対象にサポートします。
- 4 学外イベントへのブース出展** 身体組成、推定ヘモグロビン値などの測定結果をもとに、料理カードなどを用いて食事のアドバイスを行っています。



学外イベントでブース出展 (於: パロマ瑞穂野球場)



レシピ本掲載メニューの試作!



至学館 2025 で2年生がスイートポテトを販売

#### VOICE

主将 筑後 なごみ さん (栄養科学科3年)



私たちは、アスリートやその保護者及び指導者に向けてレシピ本を作成しています。その作成に伴い毎月試作を行っています。また、学内選手に対し食事提供を行い、栄養バランスを考えた食事での競技力向上のサポートをしています。さらに学外のイベントにブースを出展し、身体組成や野菜摂取量などを測定し、その結果をもとに食事のアドバイスなども行っています。

#### 学科情報

### 2026年4月スタート! 栄養科学科で至学館大学独自の「スポーツ栄養コーチ」称号を授与!

2026年4月入学生からスポーツ選手の食事づくりや栄養サポートを実践的に学べる科目『スポーツ栄養基礎演習』+『スポーツ栄養実習』が新設されます。スポーツと栄養の関わりについて深く学び、現場体験を通して実践力を身につけられるのが特徴です。講義+実習で「スポーツ栄養コーチ」としての認定バッジが授与されます。「管理栄養士+スポーツ栄養コーチ」でスポーツ栄養のプロを目指します!

### 2025年度より 子ども健康・教育学科に「子どもアミューズメントコース」を新設

本コースでは、子ども向けの絵本・小説・アニメ・動画などのメディア制作や、イベント・テーマパークの企画・運営に関わる仕事に必要な知識を身につけます。同時に、4年間を通して子どもに関わる健全な発達や発育について幅広く学ぶことができ、保育士資格や教員免許状の取得も可能です。



詳しくはこちら 

#### 注目の学生を PICK UP

学生活動情報は 

##### インカレ女子800mで優勝



森 千莉 さん (健康スポーツ科学科2年)  
2025年6月5日(木)~8日(日)に行われた「天皇賜盃第94回日本学生陸上競技対校選手権」の女子800mにおいて2分5秒51のタイムで優勝。さらに同年9月28日(日)に行われたU20東アジア陸上競技選手権大会の女子800mでも見事優勝しました。

##### ビーチコーフボールのWCに出場



瀬崎 遥菜 さん (健康スポーツ科学科2年)  
オランダ発祥のニュースポーツである「ビーチコーフボール」の日本代表に選出。2024年12月6日(金)・7日(土)にタイ・バンコクで行われたワールドカップに出場しました。

##### 侍ジャパン女子日本代表に選出!



脇坂 仁南 さん (健康スポーツ科学科4年)  
2025年10月に侍ジャパン女子日本代表メンバーに選出され、第4回BFA女子野球アジアカップに出場。日本代表チームの主将を務めました。

## 「仲間をまもり隊」を結成！学内外で大活躍！「第19回マニフェスト大賞」で特別賞を受賞！

「仲間をまもり隊」は、地域との関わりや災害での当事者意識をもたせるため、2023年度に越智久美子准教授が発足させました。活動趣旨に賛同する学生たちが、大府市消防本部・消防署による指導のもと消防や救急や救助に関する専門的知識・技術を学び、関連する資格を取得。事故や災害時には率先して地域、仲間、自らをまもる人になれるよう学内外で活動して

います。この取り組みの成果が評価され、日本最大規模の政策コンテスト「第19回マニフェスト大賞」において、特別賞（インターネット投票部門で第1位）を受賞しました。授賞式には、「仲間をまもり隊」を代表して、近藤宏紀さんと中根開斗さん（当時・健康スポーツ科学科4年）が出席し表彰されました。



詳しくはこちら



## 栄和人氏がレスリング部監督を勇退！「武道場」を「栄和人記念レスリング場」に名称変更

2025年3月に至学館大学レスリング部の監督を勇退された栄和人氏（現顧問）の輝かしい功績をたたえ、至学館大学スポーツ・サイエンス・センターの「武道場」が「栄和人記念レスリング場」へと名称変更されました。学園創設者・内木玉枝氏の故郷である岐阜県中津川市（旧加子母村）の加子母森林組合の協力を得て制作された檜の看板が入口に掲げられました。



詳しくはこちら



## 学生が「ガクカン・マニフェスト」を国会に届けました

「人間・社会と法（含社会倫理）」（担当：谷岡郁子教授）の受講生約100名が、自分たちの未来を明るくものにしたいと、奨学金制度や夫婦別姓、ネット規制やギャンブルに関する法律の整合性など、11項目から構成された「ガクカン・マニフェスト」を作成。受講生を代表し5名の学生が、衆議院第一議員会館の会議室で超党派の複数の国会議員に「ガクカン・マニフェスト」を伝えるとともに意見交換が行われました。



2025.02.19(水) 衆議院第一議員会館

詳しくはこちら



## 学生企画「アームレスリング大会」開催 優勝者には大学から「power至学館」の称号が！

本企画は、田中亮成さんと大竹来輝さん（当時・健康スポーツ科学科4年）の発案により、2024年9月に「腕相撲実行委員会」が発足し、同年10月に第1回大会を越智ゼミ運営のもと開催されました。学科を問わず全学生が参加可能で、教職員や卒業生を含め100名以上がエントリー。優勝者には大学より「power至学館」の称号と賞品が贈られました。第2回大会（2025年10月）も越智ゼミ運営のもとで開催され、大いに盛り上がりを見せました。



第2回チャンピオン  
（左端）大沢 慎さん（健康スポーツ科学科4年）  
（右端）ピャンバスレン ハリウンさん（体育科学科2年）

詳しくはこちら



## 世界レスリング連合(UWW)と戦略的パートナーシップを締結 至学館大学が世界の女子レスリング競技選手の練習の拠点に！

至学館大学は、2025年4月に世界レスリング連合(UWW)と戦略的パートナーシップを締結。その取り組みの一環として、同年11月に13カ国から20名の選手とコーチ・スタッフらが参加する国際合宿が実施されました。合宿では、五輪金メダリストの樋口黎選手や銀メダリストの高谷大地選手らが練習をサポートし、至学館大学の川瀬克祥、有延大輝、土性沙羅各コーチらも指導にあたり、参加選手は技を磨きました。なお、これまでもウクライナレスリング女子代表選手団の受け入れを行っており、学生たちと国際交流も図っています。



詳しくはこちら



## 多田敬典教授（栄養科学科/健康科学研究所）の研究成果が特許を取得

2025年10月、多田敬典教授と元井章智氏（東栄新薬株式会社代表取締役/至学館大学健康科学研究所特別研究員）による共同研究の成果が、アガリクスKA21摂取によるストレス性認知機能障害の抑制作用を確認し、「ストレス性認知機能障害改善組成物およびこれを含む医薬・食品、飼料」として特許を取得しました（特許第7752340号）。今後の新しい治療方法やサプリメントの開発に注目が集まっています。



詳しくはこちら



## 体育科学科が「実践的トレーニング教育機関」に認定！CSCS認定校となりました

CSCS (Certified Strength and Conditioning Specialist) は、アメリカのNSCA (National Strength and Conditioning Association) が認定する「ストレングス&コンディショニング (S&C)」分野の国際的資格です。日本国内におけるCSCS認定校は、体育・スポーツ系大学の中でも選ばれた一部に限られており、「CSCS認定校となった」ことは、教育水準・実績・専門性が全国的に認められた証であり、大学のスポーツ科学分野における大きなステップアップといえます。



詳しくはこちら



大学の話題：秘書・広報室Instagramはこちら ▶▶▶ リンク先：https://www.instagram.com/sgk1905/



## 教員情報

### 退職された先生方

2023 (令和5年度)



北川 章先生



松崎 邦守先生



池田 琴恵先生



久保 賢志先生



上野 智也先生

2024 (令和6年度)



三浦 裕先生



二村 洋輔先生



松川 亜矢先生



森(中川) 千尋先生

訃報 心からご冥福をお祈りします。

- 2024.06.02 ……平岩 定法 名誉教授 (享年85歳)
- 2025.11.12 ……長谷川 純三 名誉教授 (享年101歳)

# (活躍する卒業生)

至学館大学での学びを生きし  
さまざまな分野で活躍する卒業生をご紹介します！



ITの技術革新はまだまだ発展途上。  
テクノロジーを通じて社会課題を  
解決します！



オフィシャル  
サイト

株式会社アクセレント  
代表取締役

令和2年度  
健康科学部こども健康・教育学科 卒  
富成 那央 さん

血液観測を通じて、  
美と健康のバランスを整える  
サポートをしています！



Instagram

KAIKA 代表

平成11年度  
健康科学部健康スポーツ科学科 卒  
後藤 亜紀 さん

在宅ワークから始めよう！  
あなたの応援が、社会復帰への  
一歩になります！



オフィシャル  
サイト

社会復帰支援アウトリーチ  
代表理事

昭和59年度  
短期大学部体育学科 卒  
林(植田) 日奈 さん  
輝く女性 ソーシャル  
ビジネスプラン  
コンテストあいち2018  
愛知県知事賞受賞

データを駆使してプロ野球選手に  
年間を通じたストレンス&  
コンディショニングを展開



オフィシャル  
サイト

埼玉西武ライオンズ  
S&Cコーチ

令和4年度  
大学院健康科学研究科 修了  
萩野 敏生 さん

横浜DeNAベイスターズを  
はじめとするアスリートたちを  
「ちとせメソッド」でサポート！  
腸内環境データを生かして、  
そのパフォーマンスを支えています！



紹介記事

株式会社ちとせ研究所勤務  
(ヘルスケア領域) 管理栄養士

令和4年度  
健康科学部栄養科学科 卒  
浅野 真子 さん

体操競技部の  
選手をサポート！

ランナーを中心に活動中！  
走りを変えるきっかけに！



Instagram

1st STEP代表  
パーソナルトレーナー/  
ランニングアドバイザー

平成27年度  
健康科学部健康スポーツ科学科 卒  
笠木 涼太 さん

アスリートに世界中オトモして食事を整えます！  
大学で知り合えた仲間とスポーツ栄養の会社をみんなで頑張っています



Facebook



スタッフ/  
公認スポーツ栄養士

平成14年度  
健康科学部栄養科学科 卒  
佐藤 光美 さん



株式会社OTOMO  
代表/管理栄養士

平成13年度  
健康科学部栄養科学科 卒  
橋本 恵 さん



スタッフ/  
管理栄養士

平成15年度  
健康科学部栄養科学科 卒  
森下 奈津 さん

“アンビシャス(志)をもってHappyに  
生きよう”をモットーに、人財育成コン  
サルタントをしています！



株式会社アンビシャス  
代表取締役

昭和62年度  
短期大学部体育学科 卒  
清水(春日井) 絵津子 さん



Facebook

伝統的な酒造りを通じて、  
若い世代や海外の方にも、  
日本酒の魅力を伝えたい！



関谷醸造株式会社  
ほうらいせん吟醸工房  
杜氏

平成26年度  
健康科学部健康スポーツ科学科 卒  
曾木 翔太 さん



オフィシャル  
サイト

丁寧な手技と自然の恵みで  
心身の調和を！



桜の栞接骨院 院長  
桜の舞茶壺 セラピスト/  
柔道整復師

平成7年度  
体育学部体育学科 卒  
吉田 江 さん



Instagram

「両親にもらったこの声とともに、好きな  
ことで生きていく」その中で感じる、  
喜びも苦しみも全て歌詞にし、名前も顔  
も知らない誰かの希望になりたい



アーティスト UKI

平成30年度  
短期大学部体育学科 卒  
玉置 萌々花 さん



Instagram



コンサルティング会社経営  
株式会社リアル 代表取締役

“turn a dream  
into reality”

平成23年度 短期大学部体育学科 卒  
坂口 友亮 さん



Instagram



にじいろ社労士事務所  
社会保険労務士

だれもが働きやすい  
職場の環境整備をサ  
ポートします

平成17年度 短期大学部体育学科 卒  
西本 梓 さん

NHK番組  
『toi-toi』に  
スタジオメンバー  
として出演！



オフィシャル  
サイト

## 卒業生がプロデュースするお店

### 和モダンカフェ Sun on Tow

2024年5月、岡崎駅西口の「駅西小町」内に、  
「Sun on Tow (さんおんとう)」をオープンしま  
した。管理栄養士監修の和モダンカフェをコン  
セプトに、多くのお客様で賑わっています。  
機会がありましたら是非ともご来店ください。

〒444-0837  
愛知県岡崎市柱1丁目13-1 駅西小町B5,6  
☎ 0564-64-1350



本多 勝 さん  
平成26年度 健康科学部  
栄養科学科 卒



Instagram

### 山家蕎麦 与作

2025年10月6日「山家蕎麦 与  
作」をオープン致しました。十  
割蕎麦とお酒を楽しんでいた  
だけのお店となっております。  
ご来店お待ちしております！

〒461-0001  
愛知県名古屋市東区泉1丁目7-23  
☎ 052-228-9288  
(ご予約はディナーのみ)



北山 義達 さん  
平成30年度 健康科学部  
健康スポーツ科学科 卒



Instagram

## 警察官・機動隊として県民の 安心・安全を守っています！

愛知県警察・警備部機動隊に勤務して4年が経ちました。市民の安全を脅かす爆発物等の処理を行っています。大学時代に続けてきた野球やバイトを頑張ってきた経験が、今、とても役に立っています。県民の皆さまのお役に立てるように頑張っています。

令和3年度  
健康科学部健康スポーツ科学科卒業生



## 2025年2月に阪神タイガースを現役引退、 新たな一歩！

私は6年間阪神タイガースでプレーしておりました。楽しいことも苦しかったこともたくさん経験させていただきました。ここまで来れたのは、これまでたくさんの方に支えていただき、応援があったからこそこのキャリアだと思っています。だからこそ、ご縁や感謝の気持ちを大切に、これからは少しずつでも皆様のお力になれるように精進していきたいと思っています。謙虚な姿勢で感謝の気持ちをもって行動していれば必ず夢は叶うし、目標は達成できると信じています。



片山 雄哉 さん 短期大学部体育学科出身



Instagram

## バレーボールチーム「LIBERTY愛知」 JVA第44回全日本バレーボールクラブ選手権大会に出場！

私たちは、愛知県を拠点に活動する6人制バレーボールチーム「LIBERTY愛知」に所属しています。学生時代はそれぞれ異なる学部や環境で学び、在学中に関わることはほとんどありませんでしたが、卒業後にバレーボールを通じて出会い、チームの仲間として活動するようになりました。社会人として日々の仕事に励みながらも、バレーボールを通して得られる仲間との絆や達成感は、私たちの心の支えとなっています。卒業生の皆さまも、それぞれの場所で輝かれています。私達も、これからも“今を全力で楽しむ心”を忘れずに歩んでいきます。

夏目 美玖 さん  
令和4年度  
短期大学部体育学科 卒

杉浦 舞帆 さん、水谷 春香 さん  
令和6年度  
健康科学部健康スポーツ科学科 卒



## こどもたちとの関わりのなかで 指導者としての成長を実感！

株式会社ファミリー・スポーツクラブに新卒入社して10年目となります。こどもたちに体操やサッカーなど、スポーツの楽しさを教えるとともに、挨拶や礼儀の部分も指導を通して伝えています。日々のこどもたちとの関わりのなかで、自分自身も指導者としての成長を実感しています。また、人事採用業務にも携わっており、人事部長としての役割も担っています。

松原 拓也 さん  
平成27年度  
健康科学部こども健康・教育学科 卒

## ダンスグループ「Null」 「愛知県芸術劇場専属ダンスアーティスト」に抜擢！

私たちは東京を拠点に舞台や映像、創作など多様なダンス活動に励んでいます。大学で出会った仲間や広がった人とのつながりは今も支えとなり、卒業後もともに歩めることに深い感謝を抱いています。

■ダンスグループ「Null」で活動中  
黒田 勇 さん  
平成30年度  
健康科学部健康スポーツ科学科 卒

岡田 玲奈 さん  
平成30年度  
健康科学部こども健康・教育学科 卒

■「Null」作品の出演ダンサー  
仙石 孝太朗 さん  
令和2年度  
健康科学部こども健康・教育学科 卒



左から岡田さん、黒田さん、仙石さん

写真提供：「愛知県芸術劇場ダンスアーティスト Null ワークインプログレス (C) HATORI Naoshij」

## Honda鈴鹿の投手として活躍！ 「第50回社会人野球日本選手権大会」 JR西日本戦で完全試合を達成！

2025年11月4日(火)に京セラドーム大阪で行われた「第50回社会人野球日本選手権大会」JR西日本戦で完全試合を達成しました。この快挙は、2017年大会以来8年ぶりで大会史上2人目の記録です。

井村 勇介 さん  
平成30年度  
健康科学部  
健康スポーツ科学科 卒



## 大学の講義に卒業生の伊藤米子さんが 登壇。熱田空襲と伊勢湾台風について 語られました。

1945年6月9日(土)、熱田空襲で愛知時計船方工場に学徒動員中だった学園の生徒34名と教員1名が爆死しました。その中の一人に、伊藤米子さんの姉・石原照子さん(学園生徒)がいました。小中学校教員として40年間従事し、91歳(講義当時)を迎えられた伊藤米子さんは、2025年6月9日(月)に、大学講義「現代人間論<人間図鑑>」(越智久美子准教授担当)に登壇され、その時の経験を公開講座形式で学生や一般の方たち約280人の前で語られました。また、同年11月20日(木)には、越智久美子ゼミの学生たちに1959年9月26日(土)に発生した伊勢湾台風での経験を話されました。

伊藤 米子 さん(旧姓：石原) 昭和28年度 短期大学部家政科 卒



2025.6.9 熱田空襲について語る伊藤米子さん(左) 2025.11.20 越智ゼミで伊勢湾台風について語る様子

## 地域の皆さんが安心して暮らせる 環境づくりに取り組んでいます！

愛知県設楽町役場で移住定住の支援や地域振興に関わる業務を担当しています。移住の相談対応やイベントなどを通じて、地域に人を呼び込み、安心して暮らせる環境づくりに取り組んでいます。機会があればぜひ遊びに来てください！

古瀬 朱莉 さん  
令和4年度 健康科学部こども健康・教育学科 卒



## 書籍紹介

葛藤を越えて  
行動できる自分になる本  
“ものごとが決められない  
自分”を変える法



著者：林 日奈 さん  
(昭和59年度 卒)

一家に一冊の  
子育てお守りHandbook  
たった一日で  
子どもと自分を愛するママになる  
“子育てのお守りHandbook”



著者：澤田 有心子 さん  
(平成4年度 卒)

映画化され  
2025年3月より全国で上映

父と母の視点からの  
娘春香さんの関わりと介護の記録  
春の香り  
脳腫瘍と闘い、  
18歳で逝ってしまった最愛の娘へ



著者：坂野 和歌子 さん  
(平成7年度 卒)  
坂野 貴宏 さん

実用的で新しい  
スポーツ栄養指導の指針となる一冊  
心理学でアプローチ  
がまんさせない  
スポーツ栄養指導法



編者：笹竹 英穂 先生  
執筆：杉島 有希 先生、伊良皆 望美 先生、  
村上 太郎 先生、桑原 裕子 先生、  
多田 敬典 先生、谷岡 郁子 先生  
(至学館大学教員等)

「しんどいな」と  
感じている透析患者さん、  
そのご家族に役立つ一冊  
がんばらない透析食  
透析食指導歴30年以上のプロ直伝！  
手間いらずの安心レシピ



著者：井上 啓子 先生  
(管理栄養士/至学館大学教授)

国際アンデルセン賞受賞作家  
スージー・リーの原点、  
韓国語絵本デビュー作

どうぶつえん



作：スージー・リー さん  
翻訳：松岡 礼子 先生、  
(至学館大学准教授)  
姜 汶政 さん

## けいじ板

☑ 訃報 中野 千鶴子 さん(昭和46年度 短期大学部家政科 卒)  
2025年4月28日ご逝去(享年88歳)

元職員、第一寮の寮監として多くの卒業生から慕われました。  
ご冥福をお祈り申し上げます。

☑ 「CWU&SGKゴルフ親睦会」からのお知らせ

CWU&SGKゴルフ親睦会は、中女・至学館を卒業したゴルフ好きが集まって教職員や学園関係者の方々とゴルフを通じて親睦を深めています。ラウンドは年2回(3月と9月)、学科や年代を問わず参加可能です。ラウンド経験の少ない方もマナーに自信のない方も飲み会だけでもOKです！興味のある方はぜひご連絡ください。

幹事代表：北山 義達  
平成30年度  
健康科学部健康スポーツ科学科 卒  
yoshitatsu.1996.0428@icloud.com

